

モジャコ漁場一斉調査

増田多生・井元栄治・蛇目 勲・楠本輝一
今治美久・萩野鉄男・金田佳久・上田幸男

モジャコ漁業解禁に先立ち、流れ藻およびモジャコの来遊状況と漁場環境について前年度に引き続き調査を実施し、調査結果を関係機関へ広報した。なお、本事業は平成9年度新漁業管理制度推進情報提供事業で実施した。

1. 調査の概要

- 1) 調査期日 平成9年4月14・15・16日
- 2) 調査海域 図1のとおり
- 3) 調査船 漁業調査船「とくしま」
- 4) 調査内容
 - (1) 表面水温（村山電気製 MKN-21A-B 使用）、流況（日本無線製 NQA-549 使用）及び黙視による潮境の観察
 - (2) 流れ藻の分布状況及び流れ藻標識放流
 - (3) モジャコ採集
(採集方法:すくい網 - 径0.8m)

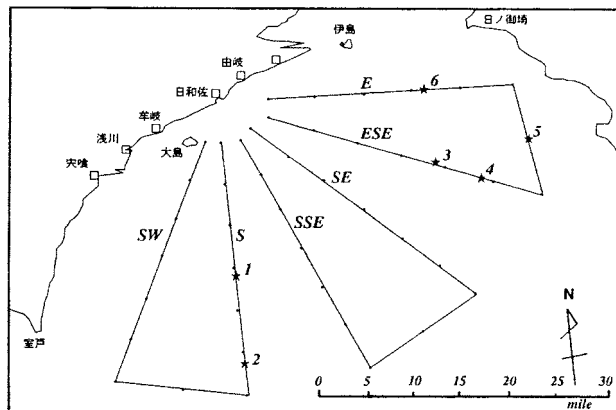


図1 モジャコ漁場一斉調査航跡図

(平成9年4月14, 15, 16日)

流れ藻標識地点及びモジャコ採集地点

2. 調査結果の概要

調査航跡図及び流れ藻・モジャコ採集地点は図1に示すとおり。

1) 海況状況

モジャコ調査実施時の黒潮流路は、4月21日発行の南西東海沿岸海況速報第6号(漁業情報サービスセンター)によると、四国沿岸および潮岬ともに離岸傾向にあった。

調査船「とくしま」の漁場調査による表層水温分布を図2に示した。調査期間中の表面水温は、E線及びESE線では16~17.9℃，その他の調査線では17.9~19.2℃を示し、全般に緩やかな水温勾配を示した。

流況は、SE線からSSEの15マイル沖では海部沿岸に向けて北西への流れが卓越していた(図3)。この15マイル内の流れは時計回りの北東の流れになり、ESE線では東から南東への流れとなった。

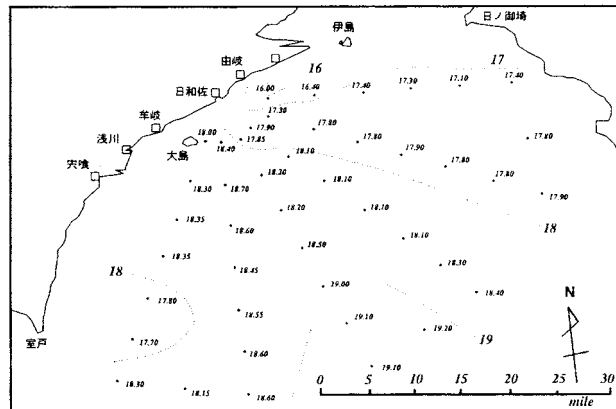


図2 表面水温分布図(平成9年4月14, 15, 16日)

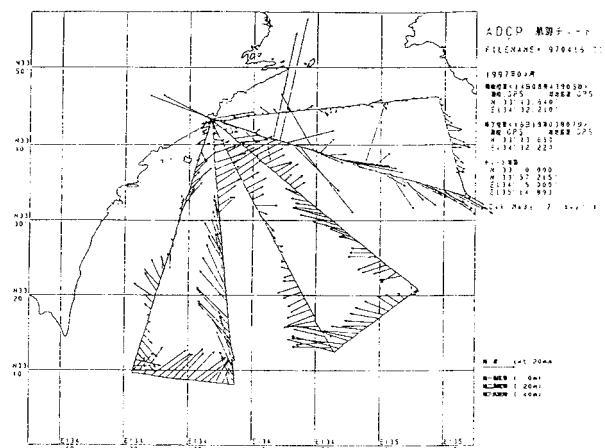


図3 調査船「とくしま」による多層式流速計による流況調査結果

2) 流れ藻の分布状況

流れ藻は、S線で2箇所、ESE線~E線で4箇所、計6箇所採集した(図1, 表1)。流れ藻の

採捕数は、航走 10 マイル当たり 0.27 箇所を大きく下回った。10 マイル当たりの採捕数及び 1 すくい当たりの採捕数も過去最低を示した。

3) 流れ藻の標識放流

採集した流れ藻については、標識はがき（記号：平 9 徳 No.201～208）を付けて採集箇所で放流を行った

（表 1）。

4) モジャコの採捕状況

3 日間の調査で採集されたモジャコの総採捕数は 9 尾で、総採捕尾数、10 マイル当たりの採捕数及び 1 すくい当たりの採捕数ともに過去最低となった。採捕魚の尾叉長は 1.8～8.3cm の範囲にあり、平均尾叉長は 4.7cm であった。

5) モジャコの採捕期間

平成 9 年度ぶり稚魚特別採捕許可期間に関する協議会において、平成 9 年度の採捕許可期間は 5 月 12 日から 6 月 3 日となった。

表 1 モジャコ調査採集結果概要

採集 No	採集 年月日	採集位置			採集地点 水深(℃)	流れ藻状況	標識放流はがき		モジャコ 採捕尾数	1すくい 回数	備 考				
		N	E				平 9 徳 No	放流時間							
1	97/4/14	33	11	3	134	36	9	18.6	黄色	径 0.5 m の藻	201	14:10	3	1	
2	97/4/14	33	22	9	134	35	6	18.4	黄色	径 0.5 m の藻	202	15:20		1	
3	97/4/16	33	36	0	134	1	5	17.8	黄色	径 0.5 m の藻	203	11:46		1	
4	97/4/16	33	35	0	134	6	2	17.8	褐色	径 1.5 m の藻	204	12:12		1	
5	97/4/16	33	39	7	134	11	1	17.8		径 1.0 m の藻	205	13:40		1	
6	97/4/16	32	45	4	134	58	0	17.5	黄色・褐色	径 0.5 - 1.0 m の藻 2ヶ	206-208	15:40	6	3	
計													9	5	